

神戸大学グリークラブ
令和元年度 会報

神戸大学グリークラブ

神戸市灘区六甲台町 1-1

目次

ご挨拶 グリークラブ顧問	阪上 公博	・・・・・ 1
グリークラブ部長	瀬川 和磨	・・・・・ 3
正指揮者	稻本 哲也	・・・・・ 4
OB 担当	山内 翔太郎	・・・・・ 5
OB 様方からの寄稿文		
新 OB 代表	古川 諒	・・・・・ 6
Aくんの思い出	西本 崇生	・・・・・ 8
2018年は、忙しかった	佐々木 英洋	・・・・・ 9
神戸大学グリークラブあるいは音楽との切れない縁	大西 肖	・・・・・ 11
歌をたよりに	大隅 孝二	・・・・・ 13
六甲男声合唱団だより	前田 豊治	・・・・・ 15
現役活動報告		・・・・・ 18
現役生名簿		・・・・・ 21
2018年度 会計報告		・・・・・ 22
寄付金の振込先・住所変更、お問い合わせについて		・・・・・ 23

ごあいさつ

顧問・技術顧問 阪上公博（82T 工学部教授）

OBのみなさまには、平素のご支援、ご指導ご鞭撻にお礼を申し上げます。

元号も改まり、新年度の新しい活動がスタートしておりますが、まずは昨年の定期演奏会のご報告をさせていただきます。昨年も12月23日に灘区民ホールマリーホールにて、第70回定期演奏会を無事に開催することができました。これも、OBのみなさまの温かいご支援に加えて、ボイストレーナーの澤井・皆木両先生、客演ピアニストの前田先生（本学講師）をはじめ、多くの関係各位のご協力の賜物と感謝申し上げる次第です。

「70回」ということで、一応「記念定期演奏会」とはいたしましたが、例年にも増して少人数化が進んだこともある財政的に厳しい運営状況のため、新作初演や大規模なステージなどを無理して企画することを控え、これまでに「記念定期演奏会」において委嘱初演してきた作品から、現役メンバーと話し合って一緒に選んだ作品をピックアップして取り上げるステージを設けることとしました。委嘱初演して以来再演されていないものも多いことを考えますと、神大グリー独自の財産ともいべき作品をふたたびお客様に聞いていただきたいという団員の気持ちを盛り込んだステージになりました。中村茂隆先生、多田武彦先生、千原英喜先生の作品から、いまの人数で演奏効果の上がるものを選んで演奏させていただきました。学生指揮者によるステージも団員の努力によって、力のこもった演奏となつたと思っております。もとより技術的にも、まだまだ未熟ではありますが、今望みうる限りの努力の成果であったかと思います。これに甘んじることなく、今後も研鑽を重ねたいと団員一同、思いを新たにしております。

さて、本年度もやや少なめとはいえる1年生を迎え、スタートを切りました。今年の特徴は、高校時代に合唱を経験してきた新入生が4名、しかも男声合唱をやってきた新入生もいるということで、人数的には全員でも昨年並みの15名程度ではあります、ここからさらに充実した活動ができるよう、励んでまいりたいと思っております。どうぞご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。前期には兵庫県合唱祭への出演、ジョイントコンサート等、例年通りの活動を予定しております。小職も出来るだけ正副学生指揮者をはじめ技術系、執行部への技術面と運営面でのアドバイスと、練習指導を強化するようにしてまいります一方、今年はボイストレーナーの先生方にも、さらに緊密なご指導をいただくようお願いしております。

今年度のジョイントコンサートでは、客演指揮におなじみの齊田好男先生をお迎えして、先生自ら企画した「若者らしいステージ」で演奏致しました。同じ本学のエルデおよび県下の女子大コーラス部との大人数での演奏となりました。

日々の練習環境について申しますと、神戸大学は4学期制導入と、大規模なカリキュラム改革、教養科目の多様化と充実、教員組織の改革と、大きな改革続きで、開学以来の大きな変革期が続きましたが、ようやく落ち着きを見せてきました。しかしながら、カリキュラムの繁忙化に伴って課外活動に参加する学生が減少する傾向がみられており、新入生の確保が難しくなりつつあります。そのような中でも、本年度の新歓活動は比較的順調であったようです。あとは、団員諸君が充実した活動ができ、かつ卒業まで歌い続けられるよう、顧問としてのアドバイスのほかにも、学務部への要望を上げるなど支援してまいりたいと存じます。O Bのみなさまも、どうぞ引き続きご支援をお願いいたします。

喫緊の課題としましては、財政状況の改善がございます。本学では、課外活動の予算については「現物支給」による物品購入に限定されており、これを演奏会等の会場費や人件費はもとより、通常の一般会計に組み入れることもできないようになっております。団員の支払う团費と、O Bのみなさまからのご支援でこれまで運営しておりますが、団員の減少はダイレクトに収入の減少となってきます。これについては、各種経費の見直しを昨年度から続けており、財政を大幅に圧迫している「招待状の発送」にかかる経費を節減する方向で、昨年末からO B会幹部のみなさまとご相談させていただいております。まず、これまでO B各位からご指摘いただいておりました、ホームページでの情報発信の迅速化について、新しいホームページに移行する形で着手いたしました。演奏会情報などを、迅速にキャッチしていただけるよう、更新しやすい形に移行しました。新しいホームページのアドレスは下記の通りです：

<https://kobeunivglee.jimdofree.com/>

(上記以外に、従前の古いページもアーカイブとして残しておりますが、最新情報は上記をご覧ください。)

これに伴い、メールでの演奏会情報配信についても、ご相談させていただいております。これにつきましても、徐々に進めたいと考えておりますので、みなさまのご理解とご協力をいただけましたら幸いに存じます。

少人数となってマンパワーも不足気味ではありますが、一同力を合わせて今年度も活動してまいります。どうぞ、引き続きご支援、ご指導賜りますよう、顧問としてかさねてお願い申し上げる次第でございます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

神戸大学グリークラブ部長

理学部 4回生 濑川和磨

本年度、神戸大学グリークラブ部長を務めさせていただいております、理学部物理学科4回生の瀬川和磨と申します。OBの皆々様、平素より多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。部員一同を代表いたしまして、御礼申し上げます。

今年度、グリークラブには6人の新入部員を迎える、現在17人で活動しております。こ
こ数年は、私を含め、大学に入って初めて合唱の世界に入った部員が大多数でした。しか
し、今年度は、高校での合唱経験者が多数入部してくれました。そんな彼らの経験も踏ま
え、さらなるレベルアップを探求して日々練習しております。

さて、本年度の活動ですが、7/14(日)にジョイントコンサートを予定しております。こ
ちらは、客演指揮に齊田好男先生をお迎えいたしまして、神戸大学混声合唱団エルデ、武
庫川女子大学コーラス部と合同で開催します。詳細は当団ホームページをご覧下さい。また、本年より、ホームページが新しいものに変更されております。この挨拶文の最後に新
ホームページのリンクを記しておきますので、ぜひともご参照ください。

また、本年度の定期演奏会の開催日時が確定いたしましたので、下記のURLからホー
ムページにアクセスしご確認ください。

私たち4回生が神戸大学グリークラブに在籍できるのも、あと半年ほどになりました。
気の合う先輩方がいたからという動機で入部した私ですが、今では仲間とともに歌うこと
が大きな楽しみとなっています。来年度以降も人数において不安がありますが、未来の新
入生がたくさん入部したいと思えるような部を目指して、よりよい部づくりに鋭意取り組
む所存です。最後になりますが、OBの皆々様には今後引き続きのご支援、並びに変わら
ぬご指導ご鞭撻の程、心よりお願ひ申し上げます。

・神戸大学グリークラブ 新ホームページ

<https://kobeunivglee.jimdofree.com>

神戸大学グリークラブ正指揮者

工学部 機械工学科 稲本哲也

2019年度神戸大学グリークラブの正指揮者を務めている稻本哲也です。

OBの皆様方、常日頃から我が団を支援して下さり、誠に有難うございます。

私は昨年OB担当として皆様と交流する機会に恵まれ、グリークラブは周囲の支援に助けられていることを強く実感したのですが、それを踏まえてこうして挨拶を書くとなるとやはり感謝の言葉を書かずにはいられません。

今年は指揮者として、皆様の期待に応えられるような振る舞いをしたいと思うのですが、まだまだ技術が追い付いていないのが現状です。大学に入って初めて指揮というものを学び始めたのですが、指揮とは相手に自分の意図を理解してもらう手段であり、各種さまざま存在する指揮法はその理解を助ける手法であると感じています。

1つの曲に対して確固たるイメージを以て臨むことは指揮者の心構えとして適切だと思うのですが、それが演者たちに伝わらなければ何の意味もない、独りよがりの妄想になりかねません。合唱を観客のために歌うと同様に、指揮は演者のために振るるべきなのです。

若輩者である私はしばしばこのことを忘れてしまい、指揮が身勝手になってしまします。それに気付いたとしてもそこからの修正がまた難儀なもので、演者に合わせようとすると指揮が適切なテンポよりも遅れたものになってしまうのです。

こちらが振る指揮は演者に遅れて伝わるためそこを把握しなければならない、というのは指揮法の基礎として学んだ事項です。事前に入念な練習を行っているとこのあたりの調整も可能なのですが、不測の事態に対応する際にこのような基礎的な事が抜けてしまう恐れがあるのです。これこそ研鑽の末体に染みつけるしかないのでしょう。

上で言及した研鑽、というのは私自身が指揮を振ることに限った話ではありません。先輩の指揮を振る姿から、他団の演奏会から、鑑賞し、学習するのです。見て学ぶといいうのも得るもののが大きく、良いものを発見したら自分の振り方に取り入れることもあります。こういった取捨選択、創意工夫は学習の醍醐味だと感じています。指揮や合唱に限らず、学びの機会において楽しみを見出すことが継続の秘訣ではないでしょうか。そしてこの楽しみこそ私がグリークラブで活動を続けてきた理由であり、これからも引き継いでいきたい文化であるのです。OBの皆様方には、今後ともご支援及びご教授の程、何卒宜しくお願ひします。

神戸大学グリークラブ OB 担当

工学部 3回生 山内 翔太郎

OB の皆様方、平素から神戸大学グリークラブをご支援してくださり、誠に有難うございます。今年度は新入部員を 6 名迎え、現在計 17 名で日頃の練習に打ち込んでいます。新入生が入るまでは我がグリークラブに合唱経験がある部員はほぼいないに等しい状況でしたが、今年入部した新入生は半数以上が合唱経験者とのことでした。私自身はというと合唱とはあまり縁がなく、せいぜい小学校の音楽の時間で合唱に触れてきた程度でした。

しかし、大学入学後本格的に合唱というものに触れ、歌うことの素晴らしさ、合唱の奥深さを感じるようになりました。初めは右も左も分からぬまま付いていくのに必死でしたが、素晴らしい先輩や同期に恵まれ、ここまで部活を続けることができました。今の私が歌うこと喜びと楽しさを感じるのも、グリークラブのおかげといつても過言ではないでしょう。それほどこの部活には深い思い入れがありますし、卒団するまでこの部活で楽しい想い出を作りたい所存でございます。

さて、前期の活動についてですが、7月 14 日にジョイントコンサートを開催させていただく予定です。今回は神戸大学混声合唱団エルデ、武庫川女子大学コーラス部、そして我々神戸大学グリークラブの計 3 団による演奏会となっております。今回の単独ステージでは、「柳河風俗詩」という曲を演奏させていただきます。この曲は多田武彦が書き下ろした最初の合唱組曲であり、全 4 曲から構成されています。第一曲「柳河」は、昭和 60 年の NHK 全国学校音楽コンクールの課題曲にも選ばれており、男声合唱を語る上で欠かせない曲の一つといつてもいいでしょう。現在部員 17 名で、先に述べた「柳河風俗詩」、そして合同ステージで演奏する曲を練習しております。年々部員が減少傾向にあり、お世辞にも大人数とは言えませんが、人数が少ないゆえに部員同士の繋がりは他の団より強いと私は思っています。

我々の団の最大の特徴は、練習以外の時間も部員同士の交流が絶えないという点であると感じています。合宿中やオフの期間でも、部員同士食事をしたり遊びに出かけることがよくあります。部員同士の絆を深め合うことは部活において最も大切な点であると認識しています。

今回 OB の皆様方とお会いできたのも、我が団が部員同士の繋がりを大事にするという風習の賜物だと私は思います。前期のジョイントコンサート、そして後期の定期演奏会に向けて部員一丸となって取り組む所存です。

末筆ながら、今後とも変わらぬお付き合いを、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新OB様代表

古川 謙

2019年3月に神戸大学工学部を卒業し、現在は神戸大学大学院システム情報学研究科で学生を続けております、古川 謙と申します。今回こうして会報のために寄稿文を送らせていただく運びとなったことを誠に光栄に思います。

私が大学院への進学を決め修士の道を歩み始めてからというもの、想像以上の忙しさとタスクの積もり具合に驚いておりますが、そんな現実の忙しさを忘れるために空想の世界へと身を投じることがあります。私にとって空想は現実逃避などではなく、自分の新たな可能性を見つけるための思考法の一つです。空想の世界は全てが自由で、現実世界に存在する様々な制約条件に縛られることなく（時には突拍子もない考えに至りますが）新しいパラダイムを見つけ出すことができる素晴らしいものだと考えています。

空想とは少し離れますか、最近巷ではVRを始めとした仮想現実・バーチャルの世界が注目を浴びており、その中でも多くの人間を虜にして一大コンテンツとなりつつあるのがバーチャル YouTuber(VTuber)です。VTuberとは、ビジュアルにCGのキャラクターを使用しているYouTuberの総称で、2016年12月に活動を開始したキズナアイさんを皮切りに現在では数千人のVTuberが活動しています。

かくいう私も VTuber に心を奪われた人間の一人なのですが、VTuber にはいわゆるサブカルコンテンツとして今までにはなかった沢山の魅力と未知の可能性が広がっていると感じています。特に、男性(女性)が女性(男性)の外見で VTuber として活動していることが珍しくない所に可能性を感じていて、ジェンダーフリーが呼ばれる現代には必要不可欠なものではないかと思うのです。

VTuber が登場する以前、バーチャルではない YouTuber として活動している方は多かったのですが、動画という性質上、外見を隠したまま活動を続け人気を得ている方は少なかったように思います。外見を晒すというハードルの高さに加え、それが受け入れられなかつた時のことを考えるとある意味バーチャルではない YouTuber の世界は"縛られた"世界だったのではないかと思います。

しかし先ほど述べた通り VTuber、バーチャルの世界では外見だけでなく性別にも”縛られる”ことはなく、自分の望む性別で、自分の望む外見で活動することができるのです。性別や外見が自由なバーチャルの世界では人物の内面が重要視され、外見での印象を排することができない私たちにとってのバーチャル世界は、真に新しい世界の幕開けとなるのではなかと私は期待しております。

PSVR や OculusGo などの VR 機器と VRChat というコミュニケーションツールの登場で一般人でもバーチャル世界での受肉が容易になったので、今後 VR が世界のスタンダードとなる日も近いのではないでしょうか。

「やらなければ、はじまらない」とはとある VTuber の発言です。VR の世界に踏み出したい人に限った話ではありませんが、何かを始めたいと思っている人や何かを変えたいと思っている人は心に刻んでおくべき金言です。自分にとっての世界を変えられるのはいつも自分なのです。

私もグリークラブで現役だった頃は、漠然とですが「部活を良くしたい」と思い続けていました。結果変わったかどうかはさておき、充実した 4 年間であったとは自信を持って言えます。今の現役部員の方も「変わったらしいなあ」ではなく「自分が変えてやる」ぐらいの勢いで部活に臨めば、きっと今まで以上に充実した部活生活になると思います。これを読んで VR の世界に興味を持った方も、勇気をもって VR の世界に飛び込んでしまえば世界は変わるかもしれません。やらなければ、はじまらないのです。

ここまで長々と書いてきましたが、私が言いたかったのはきっと、辛くなった時や苦しいときには一度自分を縛るのをやめて、空想やバーチャルの世界へと身を投じてみれば気分も変わってくるんじゃないかということなんだと思います。皆様が苦しんだった時の一つの選択肢にこれらが加わることを祈りつつ、このあたりで現実逃避はやめにしておきたいと思います。

Aくんの思い出

西本憲生（工学部'78卒）

神戸文化ホールがあと4～5年で無くなるという。大学に入りグリーメンとして最初の定期演奏会（第26回）に出演した、私にとってはとても思い出深い場所である。だがこれは同級生の足立悟（法学部'78卒）にとっても同様だったようで、彼は事あるごとに”あのホールで歌ったことが懐かしいな、良かったな”とよく呟いていた。呟いていたと過去形になるのは、彼がもう9年も前に亡くなつたからである。

もう再起できないかも知れないという状況の中、彼は懐かしの神戸文化ホールが目の前に見えるという理由で神大病院を最期の場所に選んだ。突然の病状報告のメールに驚いて見舞いに行くと、文化ホールの見下ろせる待合室で、”今まで色々とありがとう、僕はもうこれで終わりです”と淡々と冷静な口調で告げた。その後続々と見舞いにやって来る仲間たちにも同様の別れを告げ、ほんの数ヶ月で逝ってしまった。覚悟していたとは言え、お嬢さんがまだ学生だったのでさぞ心残りであったろうと思う。

鳥取米子東高校出身で、もともと合唱など音楽には全く無縁で興味も無かったであろう。彼がグリークラブに入ることになったのは、御多分に洩れず先輩の半ば強引な引っ張り込みだ。この頃のメンバーにはそうした被害者？がたくさんいたように思うが、でも半年そして1年と時が経つにつれ、次第に合唱の魅力というよりクラブの持つ家族的な雰囲気、団結力に洗脳されていく。失礼な言い方かも知れないが、音楽的素養が決して豊富とは言えなかった彼が4年間歌い続けられたのは、このような背景があつてのことだ。入学時に40名ほどだった部員が卒業をむかえるころにはほぼ倍増していたが、きっとこれも同様の理由だろうと思う。

音楽的センスだけを重視してメンバー集めしたり演奏活動を行つたわけではなく、”ぼんやりとした目標設定”と言えば少々語弊を招くかも知れないが、当時の緩めの体質が我々には非常に居心地が良かった。それでも演奏会の客席はいつも満席に近かつたし、開き直る訳ではないがそういう意味では神大グリーが関学のような合唱界の猛者（もさ）でなくて幸せだったのだ。

また私が東京勤務だった頃、彼が出張で上京の際には有楽町や新橋、渋谷などでよく飲んだ。お互に大した内容の話はしてなかつたと思うが、神戸大学と阪急ブレーブスのことが大好きだった彼は、人の顔をジッと見つつ鳥取訛りの熱い口調で冷静な世評をするのだった。ホントいい奴だった。彼が今も健在ならとつくづく残念でならない。私に今できることは、時々こうして彼のことを思い出し偲ぶことであり、それが最大の供養だと思っている。

そんな足立の愛した神戸文化ホールで、今年10月5日に旧三商大OB交歓演奏会が行われる。しかも、合同曲は大学1年の時にこのホールで彼とともに歌つた「ラ・マンチャの男」だ。時は流れ実に45年ぶりのこと、ひょっとしたらここで歌うのもこれが最後となるかも知れない。せめてその時だけでもいいから聴きに来てくれよな、足立。

2018 年は、忙しかった。

89S 佐々木英洋

1. 毎月オンステ

昨年 2018 年は特に合唱活動が忙しく、毎月オンステしていた。過去にもこんなことは記憶になく、よくこれだけこなしたものだと、我ながら吃驚している次第。

実際、それぞれ次のステージにオンステした：

- 1 月：六甲男声合唱団：大阪俱楽部「ピルゼン会」 出演（以下同）
- 2 月：混声合唱団はもーる KOBE：さとうきび畑こんさあと in 神戸
- 3 月：家内が所属する PTA コーラスの演奏会
- 4 月：はもーる KOBE：こーらすめっせ
- 5 月：六甲男声合唱団：ANCOR の会
 はもーる KOBE 有志：瞳かがやきコンサート
- 6 月：はもーる KOBE：兵庫県合唱祭
- 7 月：はもーる KOBE 有志：チャリティーコンサート
- 8 月：はもーる KOBE 第 39 回（創立 40 周年記念）コンサート
- 9 月：はもーる KOBE：団員ご尊父の「旭日双光章受賞祝賀会」招待演奏
- 10 月：はもーる KOBE：関西合唱コンクール
 六甲男声合唱団：台湾演奏旅行（新竹市・新北市）
- 11 月：六甲男声合唱団ピアニスト 島崎央子さんリサイタル贊助出演
- 12 月：はもーる KOBE：神戸こくさいホール第九

これ以外にも、「混声合唱団はもーる KOBE 団創立 40 周年記念誌」(40 ページ；フルカラー)を責任者として編集し、何とか年末に刊行にこぎつけた。団員からは大好評で、こういったものを形にでき感慨深い。ともかく印象に残る年として今後も自分の中で位置づけられるだろう。

そんな中、3 月のステージについて述べたい。

2. 「野獸」

息子が小学生の間、家内は PTA コーラスに所属した。団員 16 名ほど。指導者が息子のピアノ教室の先生ということもあり、家内だけでなく私や息子も演奏家・イベントのお手伝い等、家族ぐるみで関わらせていただくことが多かった。

2015 年「全日本おかあさんコーラス全国大会（札幌）」に兵庫県代表で出場することができ、家内は「はもーる KOBE」コンサート（於兵庫県芸術文化センター大ホール）のオンステ終演後、レセプションも早々に切り上げ札幌に急ぐという強行軍だった。その後、私と息子は一日遅れで札幌入りし、大会終了翌日から北海道の家族旅行を満喫する。

2018年3月の演奏会でミュージカル「美女と野獣」のステージを持つこととなった。指揮者として清原浩斗先生（全日本合唱連盟常務理事、大阪府合唱連盟会長）を招聘するという。先生は特に、ミュージカルのステージを創り上げることに定評がある。

音取りや進行も着々と進んでいたが、「野獣」の配役だけはどうも決まらない。いろいろ団内で検討された結果、「(声量のある (!)) 佐々木さんのお父さんに」ということで依頼があり、「野獣」役として出演することが決定した。もちろん「白一点」である。様になる演技ができるかどうか何とも言えなかつたが、まあやってみるのも面白いだろうと、軽い気持ちで引き受けた。

清原先生は想像以上に演技に厳しく、自分だけでは分からない立居振舞いについても細かく指導されたが、ミュージカル形式のステージはほぼ初めての団員に的確に指示を与え、ステージが出来上がっていくのを実感した。先生のご指導はステージに立つ者として非常にためになった。

演奏会当日、開演10分前のギリギリまで先生の演技指導が続いたのには驚いたが、ここまで力を込めないといいステージはできないのだと改めて思い知らされた。

ステージ本番では、充実した熱演ができたと個人的には思っている。「ベル」との甘い掛け合いは果たしてどう映ったのか・・・はともかく、声がよく通っていたのは効果的だったようで（最初の「ベル」に対しての恫喝、「ガストン」との決闘後の断末魔の叫び・・・）、清原先生からも「要所を締めてくれた」とお言葉をいただき、ほっとしたのを覚えている。来客からは「どこの役者をエキストラで連れてきたのか」との声もあったとのこと。大変満足している。

数日後、息子が所属する小学校の合唱隊の演奏会を聴きに体育館に入ると、先日のステージを観ていた在校生の児童が私を見るなり「あ、野獣の人・・・」。

息子の小学校卒業を期に、家内もPTAコーラスを引退したのだが、先日久々に練習に訪れると、団員から「野獣さん、元気？」と声がかかったそうな。

神戸大学グリークラブあるいは音楽との切れない縁

厚顔の美少年といわれ（本当は紅顔です）、大学に入ると迷わず「グリークラブ」に入った。隣の大学のグリーで指揮者をやっている兄への対抗心と、ブレーザーのかっこよさにあこがれてという単純な動機だった。実は、楽譜はからっきし読めないし、音程とリズムは全く駄目でし、歌詞はなかなか覚えられず、最初から苦労の連続だった。同期が30人ぐらい入り、総勢100人を超える大合唱団で、音楽に造詣の深い人たちの中でどうやってゆけばよいのかと暗澹たる思いであった。

先輩のアドバイスで、まずは音叉とピアニカを買って、狭苦しい下宿でピーピーと楽譜から外れた音の繰り返しで、とにかく音を覚えることに必死だった。練習では、パートの真ん中にいると何とか歌えているような気分になったが、端っこだと隣のパートの音が邪魔で、全く違う音を、どこのパートにも無い音を出していた。指揮者が、こちらをいつも睨んでいるように感じたものだ。

そんなこんなで、落ち込んでいるところで救われたのが、所属するセカンドパートが、他のパートを圧して一番になったことだ。一番！それは、音楽・合唱ではなく、合宿で行われたパート対抗のソフトボールであった。小生をはじめ、何名かの野球経験者がいたおかげで、在学中の合宿でのソフトボール大会は、ほぼ全て、セカンドパートの優勝だった。小生が、グリークラブ内ソフトボール部員と称する次第。

卒業後も、職場の合唱団（混声）に入り、細々と合唱を続けていたが、30代を過ぎてからは、仕事の忙しさにかまけて、専らカラオケの世界に突入し、音楽性というものから遠ざかってしまった（もともと音楽性などという高尚なものは無かったのだが）。ただ、グリーの同期とのつながりはずーっと続き、今でも年に2度ほどは同期会を行っている。これが実に楽しい。いい友に恵まれた。

2年ほど前から、その友の誘いで、ついに再び合唱をやる羽目になった。全く自信は無い。もう声が出ない。音程とリズムと声以外は何とかなるが・・・と言つて入団を固辞していたが、「大丈夫だ！お前が下手でも、一人じゃないから・・・」という励ましと慰め（？）を信じて、ついに東京六甲男声合唱団に入ってしまった。

東京六甲男声合唱団（TRMC）は、2002年6月に神戸大学グリークラブ出身者を中心に発足、平成18（2006）年4月15日（土）に浜離宮朝日ホールにおいて『第1回演奏会』を開催、以降、2年に一度の頻度で昨年『第7回定期演奏会』を成功裏に終えることが出来ました。現在は、グリーOBが約半分、グリー以外や神戸大学以外の方も半分ぐらいのメ

ンバー構成です。令和2年5月16日（土）に、第一生命ホールで行なう「第8回定期演奏会」を最大の目標に、練習に励んでいます。

竹内公一先生による「永訣の朝」と「終わりのない歌」、竹本鉄三団内指揮者（グリーOB）の「From the Sunny South」、同じく団内指揮者（グリーOB）古川方理による「DHAUPAS の莊厳ミサ」の4ステージを予定しています。

最近、少し若手（ちょっと失礼？）の方の入団もあり、多士済々の40人の団員との歌・酒・茶・語らいは、なかなかのものです。HPでも紹介していますが、未入団の方は、一度、練習開場に気軽にお越しいただければ幸いです。

練習日時：毎週火曜日 18:30～21:00

練習会場：神田キリスト教会（JR秋葉原駅より徒歩7分）

現役の皆様には、是非、グリークラブ生活を全うして欲しい。一生の思い出と、一生の趣味と、一生の友を育んでいただければ、きっと素晴らしい一生が待っていると思います。

私のように、歌が好きというだけで、へたくそでも音を楽しむことの出来る生活をなんとか続けてこれましたから・・・。皆様なら、もっともっともっと！

大学に行って良かった。神戸大学に入れて良かった。グリークラブで歌えて本当に良かった。つくづく思うこの頃です。

東京六甲男声合唱団
大西 肇 E18 セカンドテナー

歌をたよりに

神戸大学グリークラブ（関東）OB会会長
大隅 孝二（J8）

夜更けになって さあもう寝ようと明かりを消そうとして ふと本棚をみやると
いつの間にかまたごちゃごちゃしている。楽譜や資料が溜まっているのである。
整理をしなければ と始めるが ふと手にした楽譜にみつけた メロディやハーモニーに
引っかかって整理は全く進まない。

手を止めて目を閉じると 緑滴る六甲の山並みがあり 道の傍らの斜面には 濡れた紫陽花が咲いている風景が たちまち浮かんでくる。そして あれから何年たつのかと思いを巡らす。

日本人の平均寿命は 2018 年 7 月厚労省発表(平成 29 年簡易生命表)では 男性 81 歳 女性は 87 歳である。日本は世界的に長寿国と言われているのはご存じの通りである。1947 年のこの数値は男性 50 歳女性 54 歳であった。1980 年にはそれぞれ男性 74 歳女性 79 歳であった。因みにこの数値は死んだ人たちが何歳生きたかという平均値でなく その年に生まれた子供が 今の状況でいろいろな病気を潜り抜けて何歳まで生きるかという数値である。

一方 今生きている人々がこれから何年生きるかを 統計的に計算した“平均余命”も 同時期に発表されている。私はどちらかというと この数値のほうが身近に感じ わかりやすい。

平均余命は現在のところ 年齢が 65 歳の人は 20 年 70 歳の人は 16 年 75 歳の人は 12 年 80 歳の人は 9 年生きるという数字である。例えば再生医療が急速に発展すれば さらに伸びることになる。

実数でいうと日本で現在 100 歳を超える人口は約 7 万人である。100 歳を超える新聞や TV でニュースとなるのは すでに昔の話である。

これからは 今までより高年齢まで仕事をすること になるであろう。
さて 一人一人にとって 長くなった持ち時間を 元気で楽しく過ごすにはどうしたらよいとお考えだろうか。

秘訣の一つは いつまでもできる趣味を持つことである といわれるがその通りであろう。そして そこで何かしら達成感を得られれば それが生きがいであり さらに楽しみが増える。

楽しみを共有する仲間がいると 楽しみはその分 倍加する。

歌を歌うことは 肉体的にもいいといわれている。ストレッチをして筋肉をほぐし 背筋を伸ばし姿勢をピンとたたせる 深々と呼吸して 無理のない発声をするのである。悪いはずがない。

ハーモニーが決まった時の気持ち良さは 何も変えがたい。リフレッシュが得られる。

気持ちが一つにまとまり いい演奏ができたとき “楽しみ”は昇華して “感激”となるのである。

東京六甲男声で歌ってみませんか。

東京六甲クラブに1時間余りで来られる東京圏在住のグリーOB 数は方々はかなりの数になる。そのうち少し暇になった60歳を超える方々は 少なくとも120人を超えているであろう。さらに働き方が変わり ライフスタイルも徐々に変わろうとしている。年齢条件を外せば その3倍ぐらいの人数になるのではないか。

OB会の総会は原則 毎年6月第1土曜日に東京六甲クラブで開かれることになっている。今年は昨年より参加者が増えているうえに 若手に年次的な広がりも出てきた。この傾向が続くように ぜひご協力をお願いしたい

NHK・TVの“駅のピアノ”という番組がある。

演奏会場のピアノ演奏ではなく 駅においてあるピアノを 行きずりの旅人たちが 誰でも 気の赴くままに 1曲だけ演奏してゆく。 その情景を淡々と流してゆく番組である。私は この番組は構えてみたことはないが ふと出会ったとき 映像を楽しみながら 心が安らうのを感じる。先日の映像は自分の恋人が好きな曲だとだけ 短く字幕に紹介されて “花は咲く”のメロディ（東北地震の）がワルシャワの駅のピアノから流れてきた。人に寄り添う気持ちに 素直に感動を覚えた。

長く会えていないあいつを誘って 次のOB会には参加して 愛唱歌から1曲カルテットしてみるのはいかがでしょうか。総会は毎年6月第一土曜に開かれる予定である。

私は近年 年を追うごとに 歌を頼りにしている自分を発見している。

六甲男声合唱団だより

E18 前田 豊治

昨年の会報に「最近の六甲男声合唱団」と題して投稿させていただいてから早くも 1 年が経過しようとしています。この間の六甲男声は一言で言って『元気溌剌』というところでしょうか。

9月1日（土）には神戸大学グリークラブ関西 OB 会が、学友会大阪クラブで開催されました。もちろん有志の自由参加なのですが、OB 参加者 35 名のうち 19 名が六甲男声合唱団員でした。

10月12日から同 15 日まで台湾演奏旅行に行ってきました。（参加者は団員 23 名、ピアニスト 1 名、家族 8 名）田中安夫指揮者の伝手で、13 日には心築愛楽合唱団とのジョイントコンサートと懇親会を、14 日にはフォルモサンシンガーズ（混声）及び喜悦女声合唱団とのジョイントコンサートと懇親会を感激のうちに終えました。2005 年のドイツ演奏旅行以来久しぶりの海外演奏旅行でしたが、日台両国の文化的国際交流にも貢献できたものと思います。その後団同士はもちろん、個人でもメール等での交流が続いている。また 8 月 24 日には心築愛楽合唱団の来日予定もあります。

11月 10 日（土）我が団のピアニスト島崎央子さんのピアノコンサートに賛助出演しました。

12月 1 日（土）には神戸新聞松方ホールで定期演奏会 2018 を開催しました。2 年間の活動の総決算です。

第 1 ステージ 平林陽指揮 男声合唱組曲「朝の頌歌」（作詩 大岡信、作曲 木下牧子）

第 2 ステージ 田中安夫指揮 「あの日あの頃」と題して「箱根八里」「荒城の月」「浜辺の歌」等 5 曲のなつかしの名曲

第 3 ステージは KC クローバーさんの賛助出演で 飯沼京子指揮 「くじけな」（相澤直人作曲）、「ねむの花」（中田喜直作曲）「Stand Alone」（久石譲作曲）等 5 曲をさわやかで温かみのある女声合唱で。

第4ステージ 井上和雄指揮 「ウィーンの調べ」と題して「ウィーン我が夢の街」(ルドルフ・ズイーチンスキー作曲) および「美しく青きドナウ」(ヨハン・シュトラウスⅡ作曲)

を懐かしくかつ格調高く歌い上げ満場の拍手を頂戴しました。

12月8日（土）阪急芦屋川のル・ムートン・ドールを借り切って家族忘年会。参加団員30名、家族10名。腕自慢、のど自慢の独奏、独唱あり。ダブルカルテットも登場し、全員合唱で大いに盛り上がっておひらきに。

2019年に入って

1月22日（火）団員総会

加輪上団長あいさつのあと

平成30年度活動報告として

(1) 井上音楽監督より 「今年は総じて充実した1年になったと思います。六甲男声はこれから第3の黄金期を迎えるのではないかと思っています。」と高い評価とさらなる発展の期待が述べられました。

(2) 永井運営委員長ならびに各運営委員からアンコールの会・台湾演奏旅行・定期演奏会についてそれぞれ実績と総括が発表され次への課題も明らかにされました。

平成30年度会計報告並びに会計監査報告

桐ヶ窪会計と東監事の報告があり、黒字決算と健全経営が確認されました。

平成31年度スケジュールと役員改選

主なスケジュール

5月6日 ANCORの会、10月5日 旧三商大OB交歓演奏会、12月14日 女声合唱団クールフレール 贊助出演

役員改選

指揮者・パートリーダーを含む16名が運営委員に就任。(うち3名は非神大グリーOB)

5月6日（月・休日）芸文センター大ホールにて 第39回四つの男声合唱の集い(ANCORの会)

六甲男声単独演奏は、平林陽指揮で「Spirituals」より「Set Down Servant

」「Dry Bones」「The Battle of Jericho」「Deep River」「Soon Ah Will Be Done」の5曲を力強くまた繊細に演奏し、聴衆の心を掴みました。

合同演奏では当団の田中安夫指揮、島崎央子ピアノで「大中恩作品集」から「ふるみち」「幌馬車」「草原の別れ」等5曲を円熟の演奏で届けました。

観客動員の面でも六甲男声は中核を担いました。(‘来場者 1632 名の 43%)

7月13日（土）当団ピアニスト島崎央子さんのピアノコンサートに賛助出演(ANCORの会)の折と同様 平林陽指揮で「Spirituals」より4曲を披露。アンコールのステージに再登場し、「Dry Bones」を指揮者自身のピアノ伴奏で軽快に演奏し、島崎央子さんにも喜んでもらえました。

今後の予定

10月5日（土）第9回旧三商大OB男声合唱団交歓演奏会（神戸文化大ホール） 今回は六甲男声が幹事をつとめ、東京からはマーキュリーグリークラブ（一橋大OB中心）のほかに東京南濱会（大阪市大OB中心）・東京六甲男声合唱団（神大OB中心）がそれぞれの兄弟合唱団と競演の形で参加。六甲男声は井上和雄指揮で、デュオーパ作曲「ミサ・ソレムニス」より「Kyrie」「Gloria」「Credo」「Agnus Dei」の4曲を演奏。

合同演奏は当団の平林陽指揮、島崎央子ピアノで ミュージカル「ラ・マンチャの男」を総勢200名の大合唱とパーカッションで楽しく迫力のある演奏をお届けする予定。

12月14日（土）友好の女声合唱団「クールフレール」の演奏会に賛助出演

12月21日（土）家族忘年会

この1年間の新規入団者 2名、復団者 1名。

歌の好きな男性ならどなたでも大歓迎！ グリーOBならなおさら大歓迎！！

定時練習は毎週火曜日 18：00～20：30 大阪産業創造館にて。

現役活動報告

昨年度におきましても OB の皆様方による多大なるご支援、ご指導を賜りまして誠にありがとうございました。部員一同、心より感謝申し上げます。

第 70 回定期演奏会

2018 年 12 月 23 日に我が神戸大学グリークラブは、第 70 回定期演奏会を神戸市立灘区民ホール(マリーホール)にて無事開催することが出来ましたことをこの場でご報告致します。たくさんのご来場御礼申し上げます。

今回の定期演奏会では第 1 ステージにおいて、『メンデルスゾーン男声合唱曲集』を演奏致しました。この曲集は、歌詞がラテン語やドイツ語など普段耳にしない言語でありましたので、音取りやリズムを合わせるのに苦戦した曲もありました。しかし、練習を重ねて部員一丸となって臨んだ結果、本番では最高のパフォーマンスを披露出来たと思います。

第 2 ステージは『心象スケッチ』でした。作詞は宮沢賢治であり、彼の心象を浮き彫りにしたかの如く新鮮な印象を受ける曲集です。この曲集は前期から練習を重ねていましたが、後期の練習ではさらに精度を磨き、納得のいく完成度まで持っていくことを感じました。

第 3 ステージは『神戸大学グリークラブ委嘱作品レセクション』と題し、「砂漠」「あばずれ女の亭主が歌った」を始めとした計 5 曲を演奏致しました。今回の演奏会では、これまでの神戸大学グリークラブの委嘱作品の中から、魅力的かつ歌い継いでいきたい曲を選び抜き演奏致しました。当団の技術顧問であります阪上公博先生を指揮に、前田裕佳先生をピアノ伴奏にお迎えして力強く歌い上げました。

第 4 ステージは『夢の意味』を演奏致しました。夢を見るものの楽しさと同時に夢の儂さも表現したこの「夢の意味」は、前半の静けさから始まり、後半になるにつれ壮大な曲調となる魅力的な曲であり、演奏会の最後を飾るのに相応しいステージになったと思います。

ボリュームのある曲が多く例年に比べましても練習の時間や濃度がありましたが、真剣に向き合い続けた結果拙い部分があったことは確かですが多くの前で披露できたことを嬉しく思っております。幸いなことに演奏会後ご好評の声を頂き、私達にとっても満足のいく演奏会となりました。大変たくさんの人たちの力を借りて今回の演奏会を執り行うことができたと実感しております。感謝の気持ちを忘れず第 71 回定期演奏会に向け取り組んでいきたいと存じます。



第 70 回定期演奏会にて

Joint Concert 2018 ~星空に歌う想い~

2018 年 9 月 24 日に東リいたみホールにて甲南大学グリークラブ、武庫川女子大学コーラス部、神戸親和女子大学コーラス部、神戸女学院大学コーラス部の方々と共にジョイントコンサートを開催させて頂くことが出来ました。合同ステージでは、客演指揮者には様々な合唱団の指揮者を行っていらっしゃる山口英樹先生、客演ピアノには三好一花先生をお招きして演奏致しました。

当団は第 4 ステージに単独ステージに臨み無伴奏男声組曲のための「心象スケッチ」を演奏いたしました。この曲集は「水汲み」「森」「さっきは陽が」「風がおもてで呼んでいる」の計 4 曲で構成されており、宮沢賢治作詞の曲集となっております。

合同ステージでは混声合唱組曲「終わりのない歌」から「光よ そして緑よ」「君のそばで会おう」など計五曲を演奏させていただきました。5 団体が一致団結してこの演奏会を盛り上げようという気持ちが見えたのではないかと存じます。練習が始まった当初はお互いの団が交わらないどこかぎこちない雰囲気でありましたが演奏会が終わってしまうとより最初の緊張はどこへやら、レセプションでは楽しげにしゃべっている姿が色々なところに散在しておりました。

下回生にとっても初めての他団との合同ステージで戸惑うところも多々あったと思いますが貴重な経験になり今後の演奏会に生かしてくれたらと思います。



ジョイントコンサート 2018 単独ステージ

本年度は、新たに 6 名の新入生を迎える計 17 名で活動してきました。今年は新入生に合唱経験者が多く、部全体の士気も高まっております。合唱の人口が減り続けている暗い話もある中で神戸大学グリークラブは一定以上の人数を保ちながら活動を続けており、長い歴史を続けていくことこそが大切であると思っております。。

ぜひ、長い歴史を紡ぎつつある演奏会に足をお運びいただけたら幸いです。

現在は、12月15日(日)にいたみアイフォニックホールにて開催する予定の第71回神戸大学グリークラブ定期演奏会に向けて、部員一同練習に励んでいます。これからもOBの皆様方には、ご指導、御鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

2018年度 会計報告

2018年 第70回定期演奏会特別会計

収入		項目	金額	備考
	部内所得	2018年一般会計入金	624,632	
		レセプション費用徴収	45,500	
	その他所得	広告費	15,000	
	収入総計		685,132	

支出		項目	金額	備考
	演奏会費用	ホール使用料	357,488	設備・人件・調律費含む
		レセプション費用	140,000	
		先生方御礼金	80,000	
		お手伝い御礼	20,000	
		楽譜及び資料代金	58,429	
		雑費	29,215	
	支出総計		685,132	

2018年一般会計報告

一般収入		項目	17年度決算	18年度見積	18年度決算	19年度見積
	引継	前年度繰越	402,807	385,399	385,399	109,145
	所得	部費	750,000	700,000	705,000	780,000
		部費滞納金回収	0	0	0	0
		OB寄附金	141,000	120,000	235,000	200,000
		育友会助成金	37,430	50,000	54,000	80,000
		行事等余剰金	35,710	30,000	24,500	30,000
		行事参加礼金	0	0	0	0
	総計		1,366,947	1,285,399	1,403,899	1,199,145
一般支出		項目	17年度決算	18年度見積	18年度決算	19年度見積
	費用	涉外関連費	38,576	35,000	26,800	25,000
		OB担当関連費	27,520	20,000	14,400	20,000
		涉内関連費	30,631	15,000	8,000	15,000
		練習場使用料	56,980	50,000	21,420	25,000
		会計関連費	300	1,500	2,160	1,500
		新入生関連費	35,652	25,000	0	10,000
		新歓費	154,823	100,000	57,535	100,000
		ボイストレーナー御礼	60,000	60,000	20,000	40,000
		合唱祭参加費	32,000	29,200	29,200	30,000
		当年ジョイントコンサート	0	250,000	488,892	300,000
		当年定期演奏会	501,097	500,000	624,632	550,000
		次年ホール予約金	次年度会計から	次年度会計から	次年度会計から	次年度会計から
		雑費	43,969	30,000	1,715	10,000
		次年度繰越金	385,399	169,699	109,145	72,645
	総計		1,366,947	1,285,399	1,403,899	1,199,145

今年度会計を以上の通りご報告申し上げます

会計 足立啓一

監査の結果、会計に問題ないことを確認いたしました

会計監査 堀内奎人

寄付金の振込先

会報をご一覧頂き誠にありがとうございます。会報を発行し始めてから今年で6年目となり、毎年より良くしようと試行錯誤して作成しております。今後も、より良い会報を作成するために努力して参りますが、部員だけでは限界があるとも感じます

OB様方から何か御意見等がございましたら葉書かOB担当宛にメール等でご連絡頂けると大変嬉しく思います。また、近年現役活動をより活発にしつつも経費削減を心掛けております。しかし、まだまだ努力不足のために学校の助成金や部費だけでは活動費がまかなえていません。どうかOBの皆様方に寄付金のご協力頂けますようお願い申し上げます。

神戸大学グリークラブ口座
三井住友銀行六甲支店
普通預金 口座番号 3093489
神戸大学グリークラブ

コンピューターで振り込みをされる場合は口座名を半角カタカナで「シダ イグリ - 」として下さい。なお、「 - 」は長音記号ではなくハイフンなのでご注意下さい。

住所変更,お問い合わせについて

お手数ですが、住所変更された場合はハガキまたは電子メールで「回生、御芳名、連絡先、現住所」をお知らせ下さい。なお、電子メールで行われる場合は、件名に「神戸大学グリークラブ住所変更届け」とお書き下さい。またお問い合わせに関しましては下記宛先もしくはご用件ごとに各役職のアドレスまでご連絡下さい。宜しくお願い致します。

ハガキ

宛先 〒657-0013 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学グリークラブ行

電子メール

ob.kobeunivglee@gmail.com	OB チーム
stage.kobeunivglee@gmail.com	ステージマネージャーチーム
liaison.kobeunivglee@gmail.com	渉外チーム
treasurer.kobeunivglee@gmail.com	会計チーム
publisher.kobeunivglee@gmail.com	編集チーム
web.kobeunivglee@gmail.com	WEB チーム
kobe_univ_glee@yahoo.co.jp	部長

